

29 風土を歩こう会

【き】 地域の風土を学んで

以前、淡路地域の風土について調査する、県が設置した検討懇話会に所属していました。その頃から、いつか地域の風土を生かした取り組みをしたいと考えていました。

平成13年から2期淡路地域教育推進委員としての活動していたのが縁で、当時の緑町教育委員会のご協力を得て、今回実現することができました。

【概】 子どもからお年寄りまで、

みんな一緒に地域の風土を歩く

旧緑町地域には広田と倭文、2つの地区があります。

平成16年3月6日、まず広田で、緑町スポーツクラブ21推進委員会と協働で、中筋地区の史跡を歩き、初尾川ダムまで行き、中筋公会堂にて豚汁を皆で食べて体があたたまり、その後、ゲームを楽しみました。

次に、同年11月27日、今度は倭文で、平等寺、八幡神社といった史跡を歩き、小学校の体育館で太極拳を学び、だんご汁を食べました。台風23号の被害のため、感応寺山へ登るのは残念ながら中止しました。

【成】 参加したみんなが楽しんでくれました

大人も子どももお年寄りも、参加者はみんな地域の風土を歩き、ふれあいを楽しんでくれました。「自分の住んでいる地域に、こんないいところがあったのか」と意外な発見に喜んでくれる方も多かったですね。

【夢】 新市でも、各地域に広めていきたい

1月11日、緑町は西淡町、三原町、南淡町とともに、南あわじ市として生まれ変わりました。そんな中で、さらに地域の果たす役割は大きいと思います。

旧緑町地域だけでなく、新しく誕生した地域でも、各地のスポーツクラブ21推進委員会と協働しながら、「風土を歩こう会」を広めて生きたいと考えています。



広田での活動風景①

淡路地域教育推進委員

代表者氏名：平池啓子
活動地域：旧緑町地域
事務所等：南あわじ市倭文長田4-15-1
電話番号：0799-46-0030

ともに取り
組んだ団体等

緑町スポーツクラブ21推進委員会

単にスポーツをするだけでなく、誰でも参加できる風土を歩くという新しい試みをともに実施しました。

地域の民生委員

代表が民生委員をしているご縁で、参加者の声かけや、食事の用意などでお手伝い願いました。



キーワードは「風土」！誰でも参加できます

風土とは、単に景観や環境だけを言うのではなく、文化や生活様式なども含めた、地域にしみ込んでいるものです。

子どもからお年寄りまで、みんなが一緒になって、そのような風土を学びながら歩く。これは、世代間交流、福祉、まちづくり、教育、これらが一体となった取り組みであると同時に、誰もが参加できる取り組みでもあります。



声を出し続け、届きました

淡路地域教育推進会議で、「地域の支援を生かす支援活動」をテーマとする第3小委員会に2期、参加させていただきました。その中で、地域の風土を知ることが大切で、生きる力になると訴えました。

ずっと言い続けたことにより、当時の緑町教育委員会の方から、スポーツクラブ21推進委員会でも新しい試みをしたいといわれました。そして、平成15年に新しく入られた第2期目のもう一人の緑町地域の委員とともに、教育委員会と打ち合わせを重ねることにより、実行することができました。

風土を歩こう会のチラシ作成や、当日のプログラム案、講師の依頼など、教育委員会が全面的に協力してくれました。

読者の皆さんへのメッセージ

皆さんの地域でも、風土を歩こう会をしてみませんか。

子供たちは地域の歴史を学び、大人たちは地域の意外な魅力を発見し、お年寄りは、自分のペースでゆっくりウォーキングを楽しんでいます。



広田での活動風景②



倭文での活動風景